



長崎の教会群とキリスト教
関連遺産を世界遺産へ



原城跡



日野江城跡

南島原から世界遺産を
世界史に類例を見ないキリスト教の復活を支えたのは南島原市の構成資産「日野江城跡・原城跡」。この2つの構成資産を市内外に啓発するため、原城文化センターを改修し、4月4日に有馬キリシタン遺産記念館がオープンします。

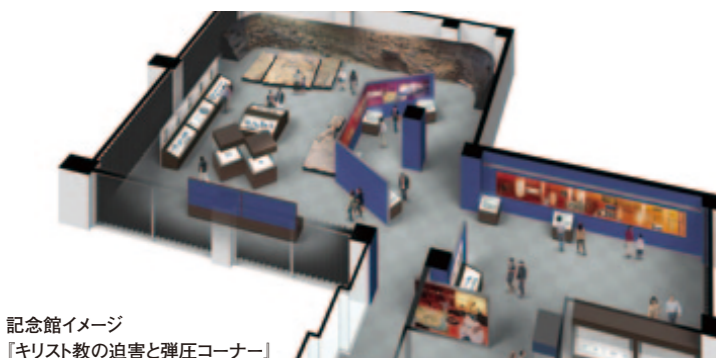


有馬キリシタン遺産 記念館に行こう!!



記念館イメージ 「キリスト教の繁栄と西洋との交流コーナー」

**日野江城は
キリスト教の繁栄と
西洋との交流**
日野江城を中心としたキリスト教の繁栄を紹介。戦国時代にヨーロッパの教育システムが導入されたセミナーヨの教育内容、天正遣欧少年使節が果たした役割、日野江城の内部や南蛮・朱印船貿易など400年前の繁栄をローマに報告されている記録などにより紹介します。



記念館イメージ
「キリスト教の迫害と弾圧コーナー」

**原城でキリスト教の
迫害と弾圧**
一方、有馬晴信亡き後の有馬領では、キリスト教が弾圧され、島原・天草一揆が勃発しました。記念館では一揆に至るまでの経過を日本国内外に残る史料や発掘調査の出土品などを中心に紹介します。また、キリスト教が一揆以降、250年間もの潜伏を経て、復活した経過も一括して紹介します。

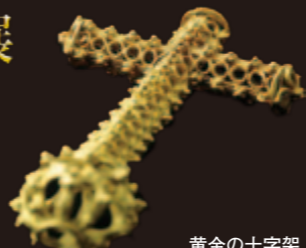


記念館では、ヨーロッパから伝わったキリスト教文化が、日本の文化の中でどのように黄金期を迎え、迫害に至ったのかを明らかにするとともに、南島原市における世界遺産候補の価値や魅力の発信を行っていきます。

『黄金の十字架と天正遣欧少年使節』企画展

開館を記念して企画展を開催します。
原城跡で出土した黄金の十字架や伊東マンショブロンズ像などを公開。

期間 **4月4日(金) ▶ 13日(日)** 協力/南蛮文化館、長崎県歴史文化博物館



黄金の十字架



- 所在地 南有馬町乙1395番地
- 開館時間 午前9時～午後6時
- 休館日 毎週木曜日、12月29日～1月3日
- 入館料 無料
- 電話 0957(85)3217

一般公開は4月4日(金)の午後2時30分からです。